

平成 27 年度 NPO 法人もったいない学会通常総会

日 時 2015 年 5 月 8 日 (金) 14 時 30 分から 15 時 05 分まで

場 所 東京大学山上会館会議室 201・202

【総会資料】

■ 次第

1. 開会

2. 総会成立要件の確認

定款第 26 条により、総会は、正会員総数の 2 分の 1 以上の出席がなければ開会することはできない、とあります。

3. 会長挨拶

4. 議長の選出

定款第 25 条により、総会の議長は、その総会に出席した正会員の中から選出する、とあります。

5. 議事録署名人選任

定款第 29 条（総会の議事録）により、議事録には、議長及び総会において選任された議事録署名人 2 人が、記名押印又は署名しなければならない、とあります。議事録署名人について、議長より本日出席の正会員の 2 名を指名し、お諮りします。

6. 議題審議

定款第 27 条により、総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる、とあります。

(1) 第 1 号議案 平成 26 年度事業報告及び決算報告の件

(2) 第 2 号議案 平成 27 年度事業計画及び予算計画の件

(3) 第 3 号議案 役員(理事・監事)の選任の件

(4) 第 4 号議案 議事録署名人選任に関する件

7. 閉会

第1号議案 平成26年度事業報告及び決算報告の件

I. 平成26年度事業報告

(概況)

皆様のご支援、ご協力のもと、社会に貢献できる学会に発展させるべく、平成25年度も精力的に活動を行いました。

以下に活動状況の詳細をご報告いたします。

【参考：定款で定められている学会の目的は以下の通りです】

「この法人は、広く一般市民に“石油ピーク”を啓蒙し、石油を大切に使う方策を検討し、その知識、知恵を広く一般に広げることによって、心豊かな社会の実現に寄与することを目的とする。」

1. 学会事業活動

1) シンポジウムの開催

シンポジウム開催無し。

2) サロンの開催

以下のように、4回のサロンを実施した。

2-1) 第1回サロン 「エネルギー・資源・文明危機下の戦略なき日本を乗り越える未来戦略について」

【日時】2014年6月6日(金) 14:45-17:00

【会場】東京大学本郷キャンパス工学部2号館1階211号室

【プログラム】

14:45-15:25 「わかったつもりは無知に劣る」-戦略なき日本の科学技術 石井吉徳会長(東京大学名誉教授、元国立環境研究所所長)

15:25-16:00 「ASEAN 鉱物資源情報システムとアジア戦略」 大久保泰邦副会長(産業技術総合研究所地質分野研究企画室)

16:10-16:45 「循環型「土太郎」の新たな村づくりの挑戦」 中島健一郎氏(元毎日新聞顧問、現大正大学客員教授)

2-2) 第2回サロン

【日時】2014年10月1日(水) 15:00-17:00

【会場】東京大学本郷キャンパス工学部3号館4階35号講義室

【プログラム】

15:00-15:30 「日本人は歴史から、何を学んだか」 石井吉徳会長(東京大学名誉教授、元国立環境研究所所長)

15:30-16:15 「ここまで来ている風力発電」 林 農理事((公益)名古屋産業科学研究所・上席研究員元名古屋大学客員教授、鳥取大学名誉教授)

16:15-17:00 「ハンブルク市ハーフェンシティの挑戦 -石油資源減耗後の都市生活について考える-」 五十嵐 敏郎理事(京都大学・金沢大学)

2-3) 第3回サロン

【日時】2015年1月26日(月) 14:45-17:00

【会場】東京大学本郷キャンパス山上会館2階会議室201・202

【プログラム】

14:45-15:00 開催にあたり 石井吉徳 もったいない学会会長 15:00-15:50 講演Ⅰ. 「東南アジアの鉱物資源ガバナンス」 大久保泰邦 もったいない学会副会長

15:50-16:40 講演Ⅱ. 「プロバイオティクスによる循環型社会の構築」 芦田 謙 京都大学名誉教授

2-4) 第4回サロン 「エネルギーガバナンス」

【日時】2015年3月20日(金) 14:30-17:00

【会場】東京大学山上会館会議室201・202

【プログラム】

14:30-15:20 「日本の科学技術ガバナンスを考える」 石井吉徳 もったいない学会会長 東京大学名誉教授 元国立環境研究所長

15:20-15:40 「生きるためのエネルギーガバナンス」 大久保泰邦 産業技術総合研究所 もったいない学会副会長 日本工学アカデミー理事

15：50-16：40 「土壌汚染—フクシマの放射性物質のゆくえ」 中西友子 東京大学大学院農学生命科学研究科教授 日本放射化学会会長 原子力委員会委員 日本工学アカデミー副会長

3) 自然との共生社会フォーラムの開催

以下のように、1回のフォーラムを実施した。

3-1)

テーマ：「文明の起こす災害から学び、自然との共生社会への道を探る」

日時：2014年4月8日(火) 1時～5時

場所：東京大学本郷キャンパス 山上会館 201・202

プログラム

① 1：00～2：00 講演 A 「過去の3大公害、制御不能の現代フクシマ、来る関東震災の脅威から何を見るか」

講演者：石井吉徳（もったいない学会会長・元国立環境研究所長）

② 2：10～3：10 講演 B 「足尾鉍毒事件での田中正造翁の闘いから学ぶこと～国家と「村」の存在に関する文明的意味～」

講演者：旭岡勲峻（もったいない学会理事・(株)社会インフラ研究センター代表取締役）

③ 3：20～4：10 講演 C 「地域で作るエネルギーの共同プロジェクト」

講演者：山口勝洋（サステナジー(株)代表取締役社長）

④ 4：20～5：00 討論 司会：田村八洲夫

4) 第1回学術・事例報告大会 ～有限の地球に生きる未来戦略を探る～

会期 2014年12月13日(土曜日)

会場 東京大学本郷キャンパス内 山上会館

プログラム

《午前の部》 基調講演/特別講演（大会議室）

9：30～9：45 開会のあいさつ（実行委員長：鈴木秀顕）

9：45～10：45 基調講演

演題 「終焉する石油文明、日本列島で生きる民族の知恵 —脱経済成長、量より質、自然と共存、地方分散の低エネルギー・脱浪費・もったいない社会—」

講師 石井吉徳（もったいない学会会長）

10：45～11：45 特別講演

演題 「研究者よ、政治から逃げないで！ —滋賀県知事8年の経験から—」

講師 嘉田由紀子（びわこ成蹊スポーツ大学学長）

その他23件の口頭発表が行われた。

5) その他の啓蒙活動として、コラムサイト（シフトム）を通じた情報発信、シンポジウム・サロン講演資料の会員限定公開を実施した。

2. 学会運営に関する会議の開催

1) 理事会

・5回開催。

（平成26年6月2日、8月9日、10月1日、平成27年1月26日、3月20日）

・適宜メール審議

※理事会議事録（メール審議含む）は学会HPで公開しております。

2) 総会

通常総会を1回開催した（平成26年6月6日）。

3. 会員の状況

会員の現況（平成27年3月31日現在）

※カッコ書きは前年度

正会員：130名（137名）

一般会員：106名（122名）

学生会員：2名（3名）

賛助会員：3名（5名）

計：241名（267名）

Ⅱ. 平成26年度決算報告

下記資料を参照下さい。

- ・収支計算書（案）
- ・貸借対照表（案）
- ・財産目録（案）
- ・監査報告書

第2号議案 平成27年度事業計画及び予算計画の件

平成27年度事業計画（案）

【方針】石油ピークが早晚、石油減耗に至る転換期にあるとの時代認識を共有し、学会の基本方針を強化し、啓蒙のため、また自然と共生する低エネルギー社会などの理念の実現のために、社会への発信力の強化や個別活動と並行して、さらなる理論面及び実践面でのノウハウを蓄積しながら、体系的な纏め・提言を行い、志を共有する具体的な活動組織との連携強化を進め、平和的な文明転換の国民的な活動強化に貢献する。

1. 学会事業活動

1) 学会 WEB の発信力向上

調和性・戦略性を十分吟味することにより情報発信力の向上につとめ、信頼・支持される学会 WEB を構築する。学会 WEB、コラムサーバ等におけるコンテンツ内容・構成の工夫に努める。27年度の具体的な取組として、

- ・ホームページの構造と内容の改善および運用方法改善による学会の基本的情報活動強化
- ・学会コラム誌 Shiftm の機能改善、および学会役員、会員の投稿の強化。学会役員の目標投稿数の設定。
- ・SNS（Facebook, Twitter 等）への学会役員、会員の参画の拡充

2) シンポジウムの開催

平成27年度中にシンポジウムを2回以上程度開催する。東京一極集中から地方分散の考えを踏まえ、その際地域での普及も重視した地方開催も予定する。を行う。

3) サロンの開催

平成27年度中にサロンを6回程度開催する。

4) 学術及び活動報告大会の開催

会員の活動発表の場として、平成27年度中に1回程度開催する。内容案は別途検討する。
（必要があれば大会実行員会を編成する）

5) 出版事業

- ・WEB 会誌発行
「もったいない学会 WEB 学会誌」の編集・公開業務を行う。特集号を企画する等して論理深度を深める。
- ・啓蒙・教育を目的とした新規刊行物の作成・出版・販売として電子出版事業を、英語版電子ブック国際的な発行を含めて計画する。

5) 部会、WG、研究会活動

(a) エネルギーの科学研究会

エネルギー開発の課題に関して、エネルギー収支比の視点から議論し、成果をホームページに掲載して啓発活動を行う。

(b) 低エネルギー社会 WG

日本工学アカデミーや中小企業家同友会全国協議会などと連携して、注目を集めているエネルギーに関して専門家を招き、低エネルギー社会づくりに関する勉強会を開催する。

(c) 自然との共生フォーラム

自然と共生の低エネルギー社会への構造転換のためのフォーラムを開催し、日本独自のより質の高い共生の在り方を検討する。

6) 表彰など

顕著な事業を行っている活動者・団体を顕彰する。

2. 学会運営に関する会議の開催

1) 理事会

平成 27 年度中に 6 回程度開催する。

・学会の活動の執行機関として、理事の役割分担と協同の体勢の向上を図り、会員と社会の真の進歩に貢献する。

2) 総会

通常総会を 1 回開催し、必要に応じて臨時総会を開催する。

平成 27 年度事業予算計画（案）

平成 27 年度 予算（案）		（単位：円）	
収入の部		支出の部	
項目	予算	項目	予算
会費収入	690,000	事業費	400,000
正・一般・学生会員	605,000	シンポ・サロン・講演会開催費	50,000
賛助会員	70,000	WEB サーバレンタル・管理費	150,000
正会員入会金	15,000	新規刊行物作成費	100,000
		学術・事例報告大会開催費	100,000
事業収入	10,000		
書籍販売	10,000		
		管理費	300,000
		事務作業委託費(印刷・通信費含)	275,000
		振込手数料	10,000
		消耗品費	10,000
		租税公課	5,000
小計	700,000	小計	700,000
昨年度からの繰越金	1,000,947	予備費	1,000,947
収入合計	1,700,947	支出合計	1,700,947

第3号議案 役員（理事・監事）の選任の件

【新任】

次の1名の方を新たに理事に選任したいと思いますので、ご検討よろしくお願ひいたします。